

板金加工を内製化し顧客ニーズに応える

高い技術を持ちながらコストと納期に課題を抱えていたために受ける仕事をセーブしていた同社。

板金加工を内製化したことで、売上がアップすると共に新たな可能性も広がりました。



「動力切断機」。板幅
300mmまでならどんな
長さの板でも切断できる。



切断後の板を折り曲げる「動力折曲機」。最新
機能により高精度な折りを実現している。



二つの機械共にパネルモニターによる全自動制御。

ものづくり
補助金活用

ココが
ポイント!



売上1.5倍増

同業他社の設備を借りて行っていた板金加工を内製化することで
作業効率が飛躍的に向上。その結果、売上が増えると共に、休日
の取得や労働時間の短縮など働き方も改善されました。

ものづくりへの想い

自分で考えて発展させていく。そこがものづくりの面白さです。ただ、私のように経験を重ねると固定観念が邪魔をして新しい発想が難しい。だから頭の柔らかい若い人たちに業界に入ってきてもらえればと思います。

今後の展望

設備は整ったので、後はしっかりと仕事をまわして社会的信用を得られる会社になればと思います。そして、経営に余裕ができればお世話になっている地元への社会貢献をしていきたいと考えています。

南

九州一円で新築アパートの屋根・外壁・

雨どいなど、建築板金工事をを行う同社。顧客からその技術力を高く評価されてはいたものの、「短期」「安価」というニーズに応えられずにいました。というのも自社で加工場を持つていなかったのです。

「すべての板金加工を同業他社の設備を借りて行っていました。そのため加工が必要なたびに往復3時間の移動時間が必要な上、設備の利用料金も発生していました。しかも、建築板金の加工は建築現場で作業ができない雨天時にまとめて行われることが通常で、設備を借りていた同業者も当然雨の日には加工するので、本来なら現場で仕事をすべき晴れた日に加工せざるを得なかったんです。

コスト減、納期短縮を実現させた動力切断機&折曲機

したがって受ける仕事を抑え気味にしていました」

そ

んな状態を改善するために同社は板金加工の内製化を決断。新たに加工工場を建設し、内製化に最も重要となる動力切断機と動力折曲機を導入しました。

「内製化によって計画的に加工・施工を行えるようになったことで、加工コストの削減、そして工期圧縮という課題を解決することができました。特に工期に関しては、これまで3日掛かっていた板金加工がわずか1日に短縮。さらに、同業者から板金加工の仕事を受注するなど新たな事業の可能性が広がりました。今後、加工の受注が増えていけば地元の雇用拡大にも貢献できるのではと考えています」

case
07

建築業

株式会社 優和

設立：2016年

代表取締役：常増 和茂

資本金：1,000万円

従業員：2名

事業内容：一般建築板金工事・加工

〒889-4241

宮崎県えびの市大字西郷853

TEL.0984-35-2103

FAX.0984-35-1416

<http://www.yuwa-bankin.com/>

